



KKR高松病院 糖尿病・内分泌センター ご紹介 & 私たちの活動内容



<糖尿病委員会結成の背景>

糖尿病患者さんに薬剤を使用するだけでは、良くなりません(血糖値は十分には低下しません)。
 薬剤の使用とともに“生活習慣の見直し”が必須です。
 経口剤を使用する以外に、患者さんが自己注射・自己血糖測定を行うことは日常茶飯事です。
 そのためには、私たち医療者が患者背景や病状・治療を理解し正確な情報を伝える必要があります
 そして、適切な療養指導を患者に提供するにはスタッフの知識・手技のレベルアップが必須です。
 ☆これらを背景として糖尿病委員会を結成しました。初期は看護師中心でしたが、
 10年前より医師をチームリーダーとして活動開始し現在に至っています。

<スタッフ>

糖尿病専門医 1名
 内科医師 1名
 看護師 27名
 理学療法士 2名
 管理栄養士 4名
 薬剤師 1名
 臨床検査技師 2名

<CDEJの内訳>

看護師 10名
 理学療法士 2名
 薬剤師 1名

<糖尿病委員会メンバー>



全員出席できず残念...でした。

<活動内容>

糖尿病委員会(1回/月)
 症例検討会(2回/月) 平成26年10月より開始しました。
 コメディカルが交代で症例を提出し、30分程度意見を出し合います。
 教育入院患者へのレクチャー
 フットケア外来(火・金)

<教育入院レクチャーの内容>

1日目:糖尿病の病態と合併症について(医師)・体に優しい食事をしていますか?(管理栄養士)
 2日目:気持ちよく動いて心も体も健康に!(理学療法士)・生活習慣を見直してみよう(看護師)
 3日目:お薬との上手なお付き合いの方法(薬剤師)
 4日目:いつも受けている検査のこと知っていますか?(臨床検査技師)・
 食行動を振り返って生活リズムを考えよう(看護師)

<フットケア外来>

予約枠は午前中4名・午後2名の計6名です。
 併科受診される患者さんが多いため、できるだけ診察の待ち時間を使うようにしています。
 透析患者さんに対しては、透析室で看護師が定期的に行っています。



<栄養指導の様子>
 食事で困っていること
 はないですか?



ここで
 フットケアを
 行っています

<文責 齋藤弘子>

